

風見尚さん

超長距離 ランナー



プロフィール

100kmを1人で走る過酷なマラソン「100kmウルトラマラソン」の元世界記録保持者。駅伝の強豪である駒澤大学を卒業後、愛三工業株式会社に入社。現在は、フルタイムで働きながら一般ランナーとしてマラソンに力を注ぐ。

2018年、100km
ウルトラマラソンの世界
記録が、風見さんによつ
て20年ぶりに塗り替え
られた。これまでの世
界記録を4分以上縮
める快挙だった。

「小学生の頃はとにかく
ゲーム好きで、逆に
運動は苦手。自転車す
ら乗れませんでした。
そのため、おごづかいを
貰うために、親の職場と
家の間の約3kmを毎日
のように走るしかな
かったんです。そのお
かげか、長距離を走る
ことだけは人並み以上
できるようになりました。
長距離走が好きになつ
てきました。」

中学・高校と陸上部
に入り、本格的に長距
離走に取り組んだ。大
学は駒澤大学へ進学。
長距離走の大会の中
で最も華がある大会の1つ

「箱根駅伝」を走るため
必死にレギュラーを争つ
た。結果は4年連続で
補欠選手。箱根路を走
ることはなかった。「4
年生の箱根駅伝では、
大会当日、レギュラー
から補欠選手に変更さ
れました。実際に走れ
るか走れないかは、気
持ちとしては雲泥の差
とても悔しかったです」
と振り返る。

その後も長距離走の
世界は甘くなかった。
大学卒業後は愛三工業
株式会社陸上部に入
部するも成績は振るわ
ず、4年で退部。その後
知人ランナーとの会話の
中で100kmウルトラ
マラソンの存在を知る。
これまでうまく結果が
出せなかったが、試しに
距離を伸ばしてみたところ
案外走ることができ
た。距離を延ばした先
にさらなる自分の可能
性を感じ、超長距離走
の世界へ飛び込んだ。
初挑戦では「100km
は長すぎた」と途中棄
権。その6年後、風見



昨年の東浦マラソン(10km)では見事
優勝！写真はゴールの瞬間。

さんは世界記録を樹立す
る。「当時、母は闘病
生活を送っていました。
これまで受けた多くの恩
を結果で返したい、勇
気づけられる話題を届
けたいという思いが、
100kmを走り切る大き
な原動力でした。世界
記録が出た時は、記録
が出たうれしさより、こ
れまで苦労をかけた親に
よい報告ができるという
気持ちでいっぱいでした。
世界記録樹立から
約7年経った今でも、
毎日20kmを欠かさず
走る。コツコツの積み
重ねがなによりも大
切だと話す風見さん。
コツコツの域をはる
かに超える努力には、
これまで支えてくれた
方への感謝があった。